

平成17年度大館市功労者

長年の功績に

深く敬意を表します

大館市功労者表彰は、市勢の発展、社会福祉増進、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があった個人や団体に対して行われます。毎年4月1日（市の記念日）に表彰式が行われ、今年度は次の方々を表彰しました。

一関 武氏（館・74歳）

昭和53年から平成14年まで、6期24年間にわたり大館市二井田財産区議員を務め、平成2年からは同財産区の副議長に就任。議長を補佐し、会の円滑な運営と財産の適正な管理運用に努力されました。この間、市営二井田工業団地、県営大館第2工業団地の造成に際し、積極的に協力をいただき、これにより、大館市発展の核となる企業立地の基礎が築かれました。

一方、平成4年から12年間、二井田真中土地改良区の理事長として、各種農業基盤整備の進展及び地域農業経営の発展に尽力されました。

鎌田 正三郎氏（立花1区・70歳）

昭和33年に鎌田曲物工芸を設立、以来現在に至るまで、国の伝統的工芸品である大館曲げわっぱの伝統的技術・技法、特に「水指・水次」製品の研究に努め、業界の第一人者として活躍。



一関 武氏



鎌田 正三郎氏



成田 功氏

また、後継者育成のため、木地製作の技術指導に尽力し、地域の小中学生を対象とした曲げわっぱ教室でも指導にあたるなど、普及宣伝に努めています。

さらに、自らの技術向上への切磋琢磨に加えて、長年にわたって伝統工芸士会の役員としての会の運営や産地振興に貢献し、その地道な活動は高く評価されています。

成田 功氏（神山・77歳）

昭和28年から50年以上にわたり、家畜の診療や病氣予防、狂犬病予防などに携わり、県内の獣医師の重鎮として活躍しています。

本市でも、牛の繁殖栄養障害検査や鹿の繁殖管理などを依頼しているほか、家畜防疫、人工受精、飼養環境の整備などに力を尽くし、県北地域の畜産農家にとってなくてはならない存在です。その豊富な知識と実績は、地域を越えて高く評価され、本市の畜産発展に多大な貢献をされています。



市民生活に配慮

17年度予算

市長リポート

No.268

今年度の予算は、合併を控え、2段階の予算ということになります。2段階の予算というのは、これまで同様の4月から始まる通常ベースでの大館市の予算と、6月20日に合併した後の、1市2町の予算を合体させた形の予算という意味です。合併関連の予算は、もちろん4月からの通常予算にも一定程度のものは盛り込んでいますが、合併すれば今度はいくらかの比内、田代の義務的経費や新規事業などを含め、新「大館市」として合併特例債を使う事業もありますので、その分も考慮しなければなりません。そういう意味で、一回りも二回りも大きくなった予算が、今度は合併後の新「大館市」の予算ということになります。

今年度予算は、ソフト面の充実を進めています。特に、病後児保育の開始や妊婦検診への補助、「子どもと親の相談員」の配置など、少子化対策や教育支援事業の拡充を図っています。

また、生活関連予算や生活基盤を整備するための予算など、市民生活に直結する部分は、苦しい台所事情であっても、重点的に配分しています。さらに、投資的経費についても、一定枠を確保しています。一方、行財政改革はこれまでも行ってきたりしますが、通常経費や補助金なども見直しを図り、整理すべきものは整理し、これからも経費の節減に努め、持続可能な自治体運営を目指していきます。

今後も、少子高齢化対策など市民の皆さんの福祉の向上に努め、地域経済の活性化と地域雇用の創造を積極的に推進し、地域再生に邁進していきたいと考えています。

小畑 元